

ワイドポート

取付説明書 ー基本ー

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書

①柱セット (2梱包)

名 称	員 数
柱	2
丸樋A(φ42×1300)	2
丸樋B(φ42×2200)	2

②前後桁セット (2梱包)

名 称	員 数
前後桁	1
雨樋	1

③中間桁セット (1梱包)

名 称	員 数
中間桁	1
中間桁カバー	1
垂木カバー用ゲージ	1

④側桁セット (2梱包)

名 称	員 数
側桁	1

⑤垂木セット (1梱包)

名 称	員 数
垂木	10
垂木カバー(樹脂)	14

⑥妻垂木セット (1梱包)

名 称	員 数
妻垂木(右)、(左)	各2
幕板(右)、(左)	各2

⑦中骨セット (1梱包)

名 称	員 数
中骨A	24
中骨B	12
水切中骨A	8
水切中骨B(右)、(左)	各2

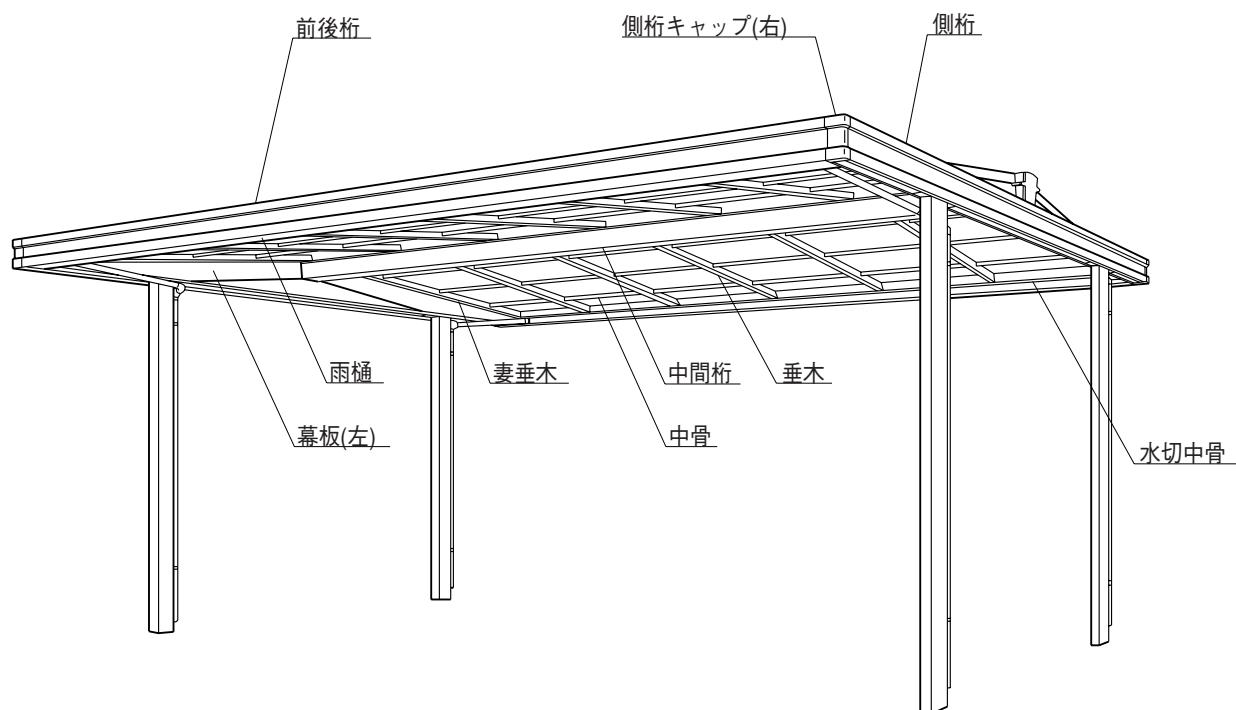
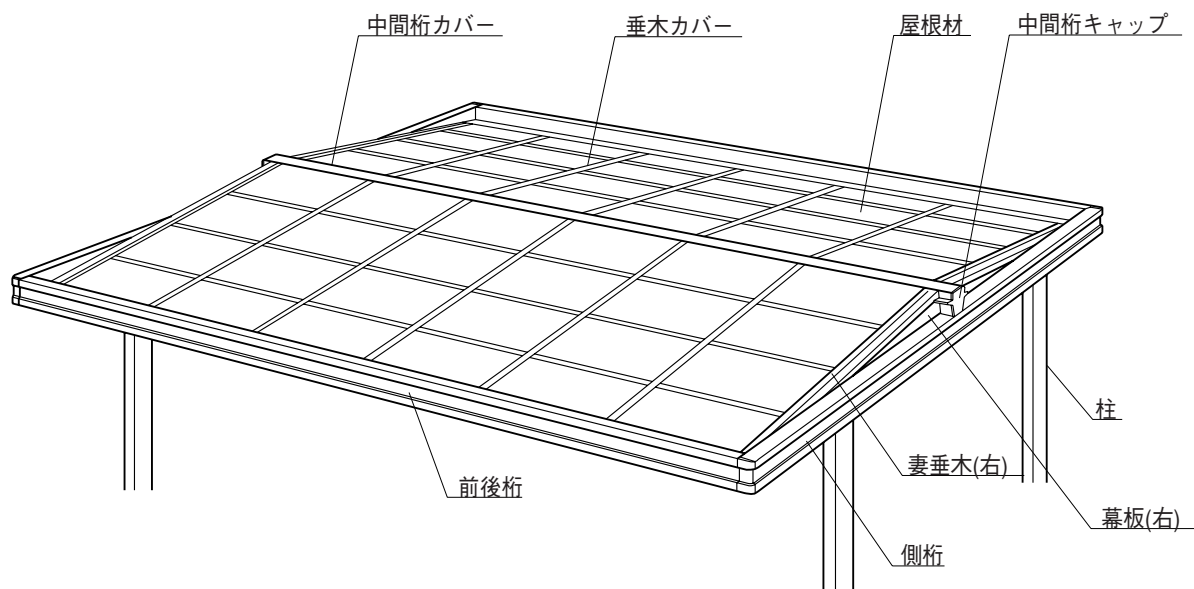
⑧屋根材セットC (4梱包)

名 称	員 数
屋根材(アクリル,814×2504×2.3)	3

⑨部品セット (1梱包)

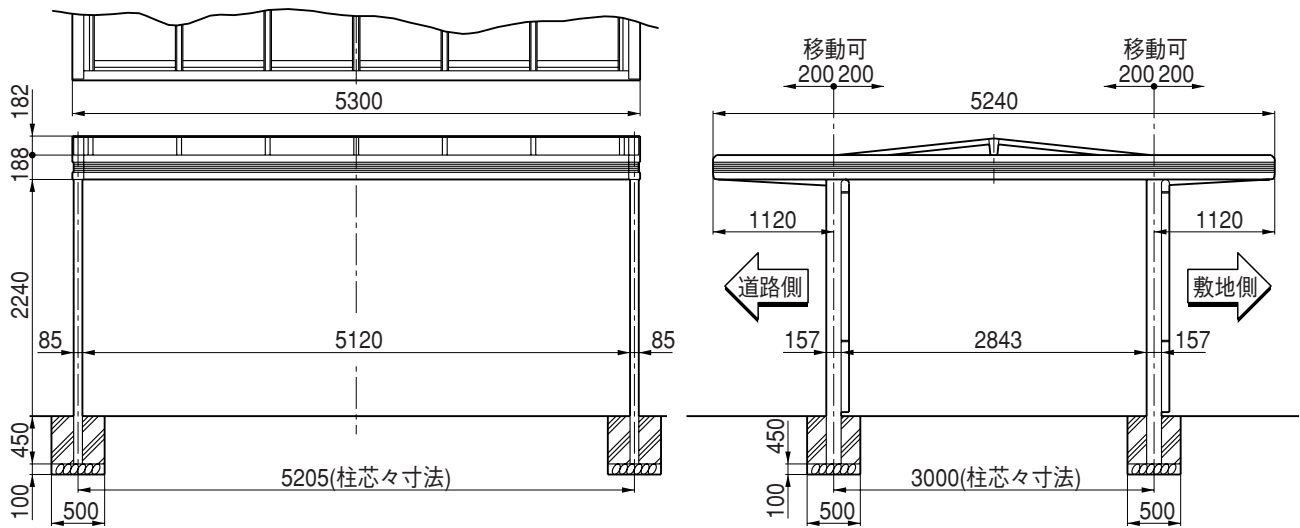
名 称	員 数
柱ジョイント金具	4
柱ジョイント金具裏板	4
中間桁キャップ	2
側桁キャップ(右)、(左)	各2
中間桁スペーサー	2
中間桁パッキン	2
前後桁取付金具	4
前後桁取付金具裏板	4
柱取付ボルト M8×20六角ボルト	16
側桁固定ボルト M8×20六角ボルト	16
中間桁キャップ取付ネジ φ4×14トラス	8
側桁キャップ取付ネジ φ4×10トラス	12
前後桁取付ネジ φ5×12トラス	16
前後桁金具取付ネジ φ8×18ナベ	16
前後桁金具取付座金 M8用	16
垂木取付ネジ φ4×14トラス	56
中間桁固定ボルト φ8×25六角ボルト	4
垂木-中骨B取付ネジ φ4×12トラス	24
垂木-水切中骨取付ネジ φ4×10トラス	24
雨樋-水切中骨取付ネジ φ4×10トラス	12
幕板取付ネジ φ4×14ナベピアス	32
桁カバー取付ネジ φ4×19ナベピアス(樹脂ワッシャー付)	21
垂木カバー固定ネジ φ4×19ナベピアス(樹脂ワッシャー付)	14
雨樋固定ネジ φ4×14ナベピアス	4
アンカー棒(φ9×300)	4
ブチルシーリング材	2
雨樋パッキン	4
アタッチメント	4
アタッチメントパッキン	4
100°エルボ	8
サドル	8
サドル受け	8
アタッチメント取付ネジ φ4×10トラス	16
サドル受け取付ネジ φ4×19ナベピアス	8
接着剤	2

1. 姿図および各部名称

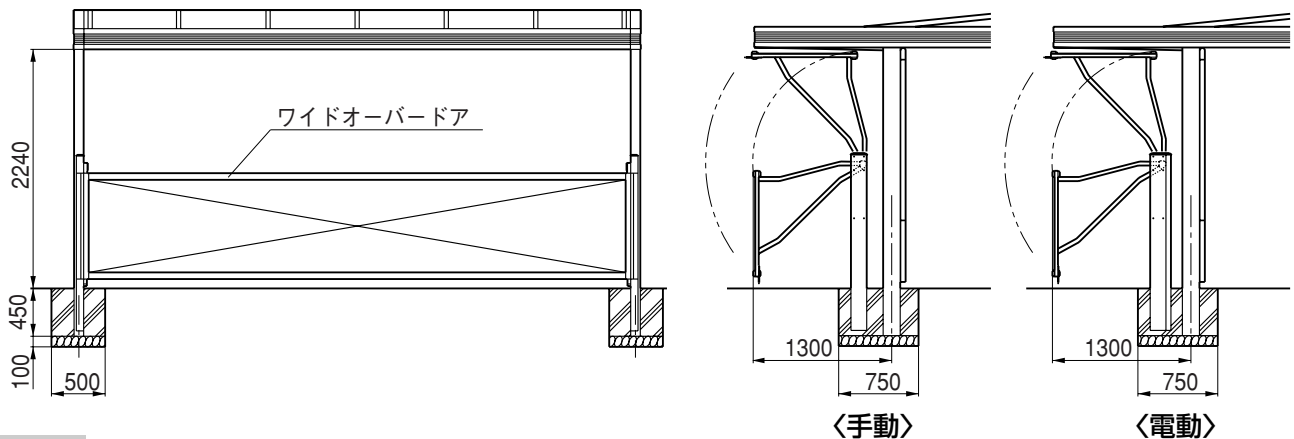


2.基本寸法

2-1 基本

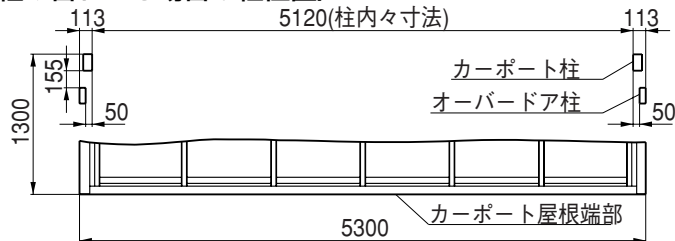


2-2 ワイドオーバードア設置時(ハイルーフ)

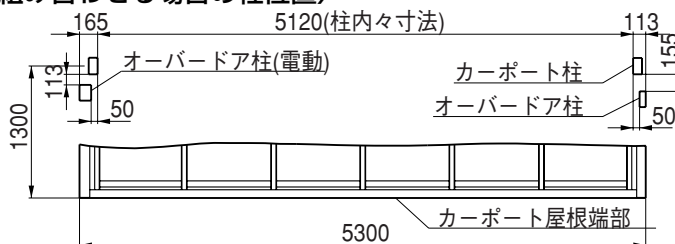


2-3 ワイドポートとワイドオーバードアとの位置関係

〈ワイドポートとワイドオーバードア標準タイプ(標準・ハイルーフ)を組み合わせる場合の柱位置〉

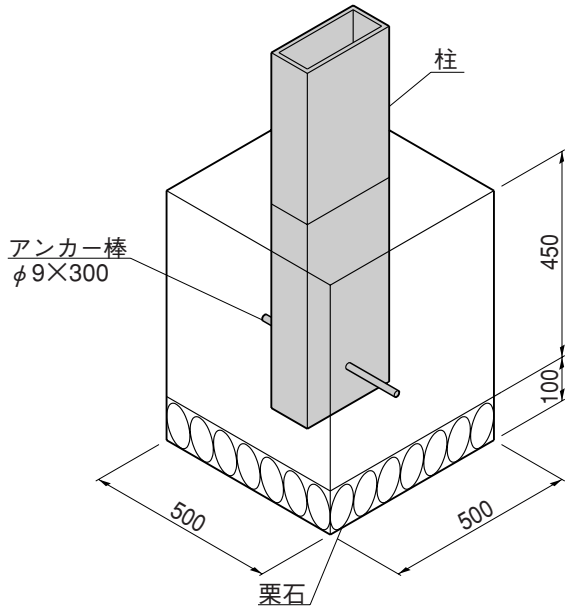


〈ワイドポートとワイドオーバードア電動タイプ(標準・ハイルーフ)を組み合わせる場合の柱位置〉



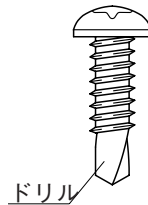
- ① ワイドポートとオーバードアを組合せる場合道路側柱位置を180mm家側へ移動させて下さい。
- ② ワイドオーバードア組付施工上ワイドオーバードアの柱の外側に約50mmのスペースを確保して下さい。
- ③ H=1200mmのオーバードアを同時施工する場合は、オーバードアの柱を30mm深く埋め込んで下さい。
- ④ ワイドオーバードアの詳細に関しましては、オーバードアの取付説明書をご参照下さい。

3.基礎施工



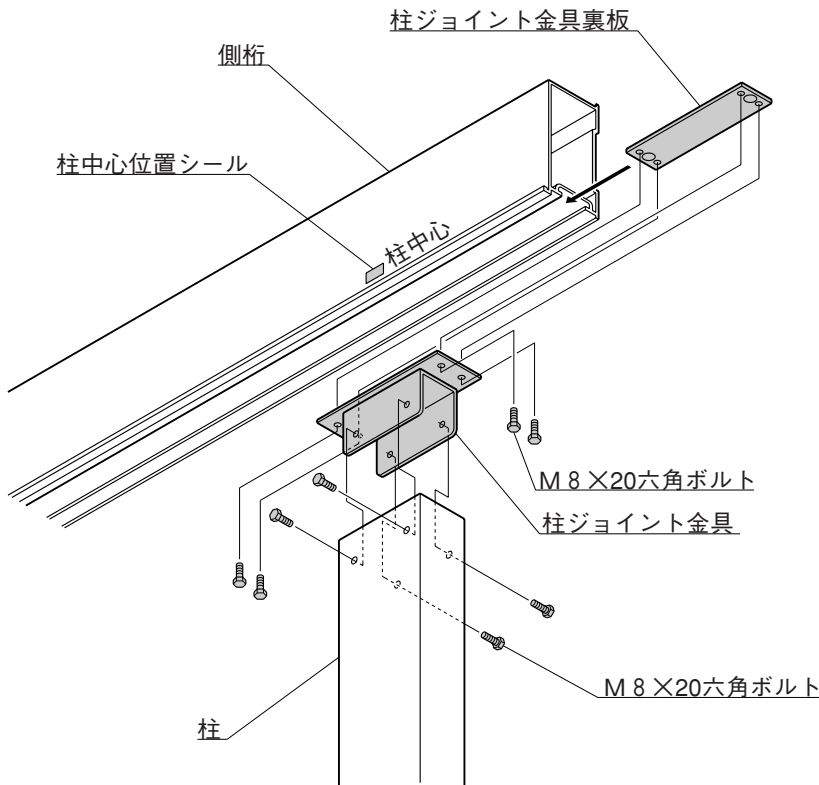
- ① コンクリート施工は、骨組完了後に行い、硬化後屋根材を組込んで下さい。
- ② アンカー棒(φ9×300)は必ず施工して下さい。

〈ピラスネジについて〉



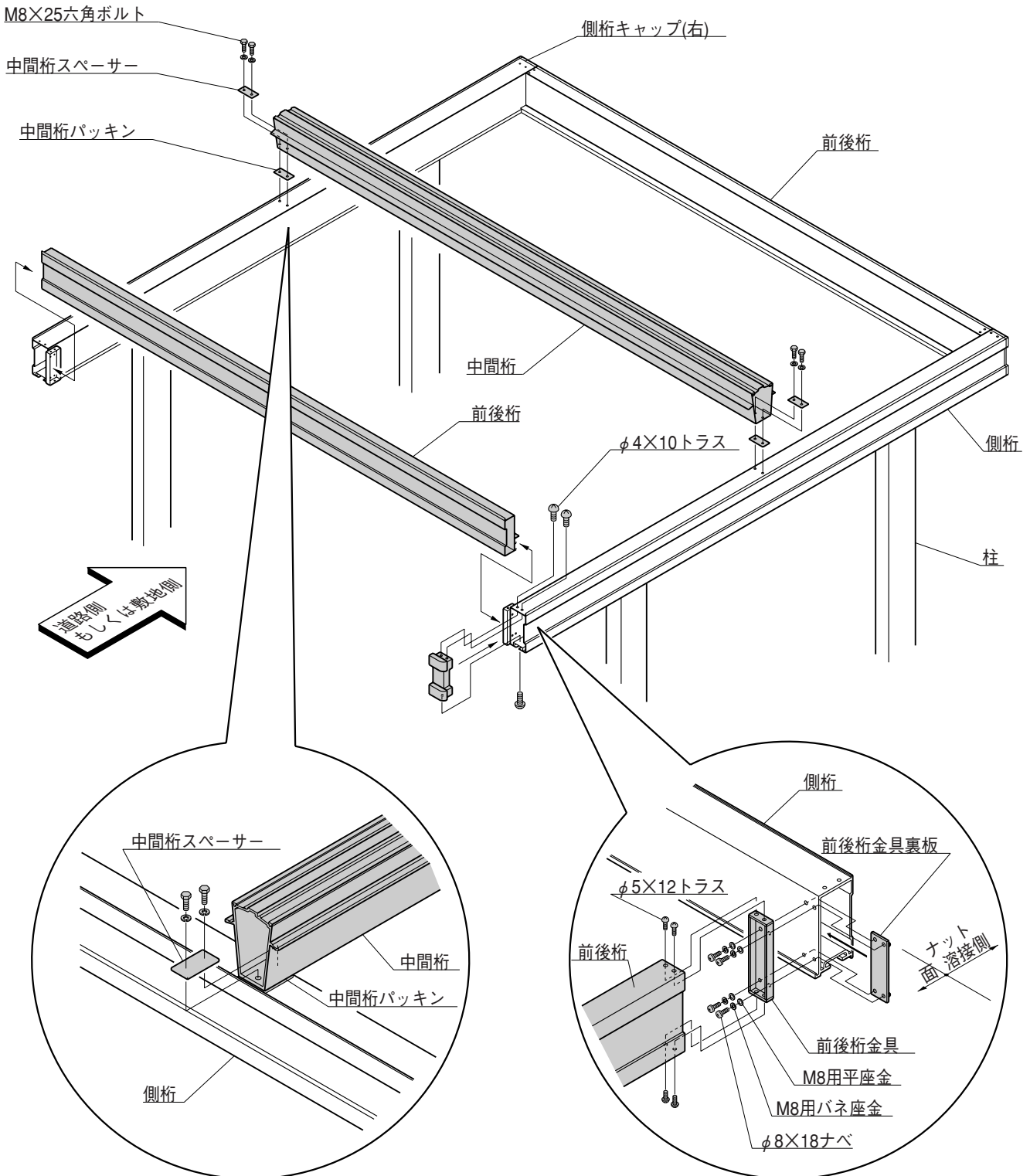
"ピラスネジ" (製法によってはテクスネジ)は、先端部分がドリルの刃と同様の形状となっています。このため、下穴加工をすることなく直接、穴あけ、ネジ止めできます。本説明書の中で"ピラスネジ"での取付方法を示している場合は、本体側に穴加工をしておりませんのでご注意ください。

4.柱・側桁の取付け



- ① 柱ジョイント金具を柱に差込み、M8×20六角ボルトで取付けます。
- ② 柱ジョイント金具裏板を側桁のミゾ部に入れて下さい。このとき、裏面の凸面を下に向けて入れて下さい。
- ③ 柱中心位置シールの位置で、柱ジョイント金具と、柱ジョイント金具裏板を、M8×20六角ボルトで固定します。

5. 中間桁・前後桁の取付け



- ① 前後桁金具をφ8×18ナベおよびM8用バネ座金と前後桁金具裏板で側桁に取付けます。
- ② 前後桁を前後桁金具にφ5×12トラスで取付けます。
- ③ 中間桁パッキンをはさみ込み、中間桁をM8×25六角ボルトおよび中間桁スペーサーで側桁中央部に取付けます。

<注意>

- ①②③の順番を必ず守って下さい。後戻り作業が発生します。
(先に中間桁を取付けてしまうと、前後桁が取付きません。)
- ④ 側桁キャップをφ4×10トラスで側桁に取付けます。

6.幕板の取付け

① 幕板(右)、(左)を中間桁側に押しつけながらφ4×14ピアスで取付けます。

<注意>

- 幕板の(右)と(左)に注意して下さい。幕板には、穴加工がしてありますが、側桁側には、穴加工をしておりません。

② 幕板と中間桁の接触面外側にシーリングをして下さい。

<注意>

- 指定の個所にシーリングしてください。
- 同梱のプチルシーリングを使用してください。(※1)

7.垂木、妻垂木の取付け

① 垂木を中間桁、前後桁にφ4×10トラスで取付けます。

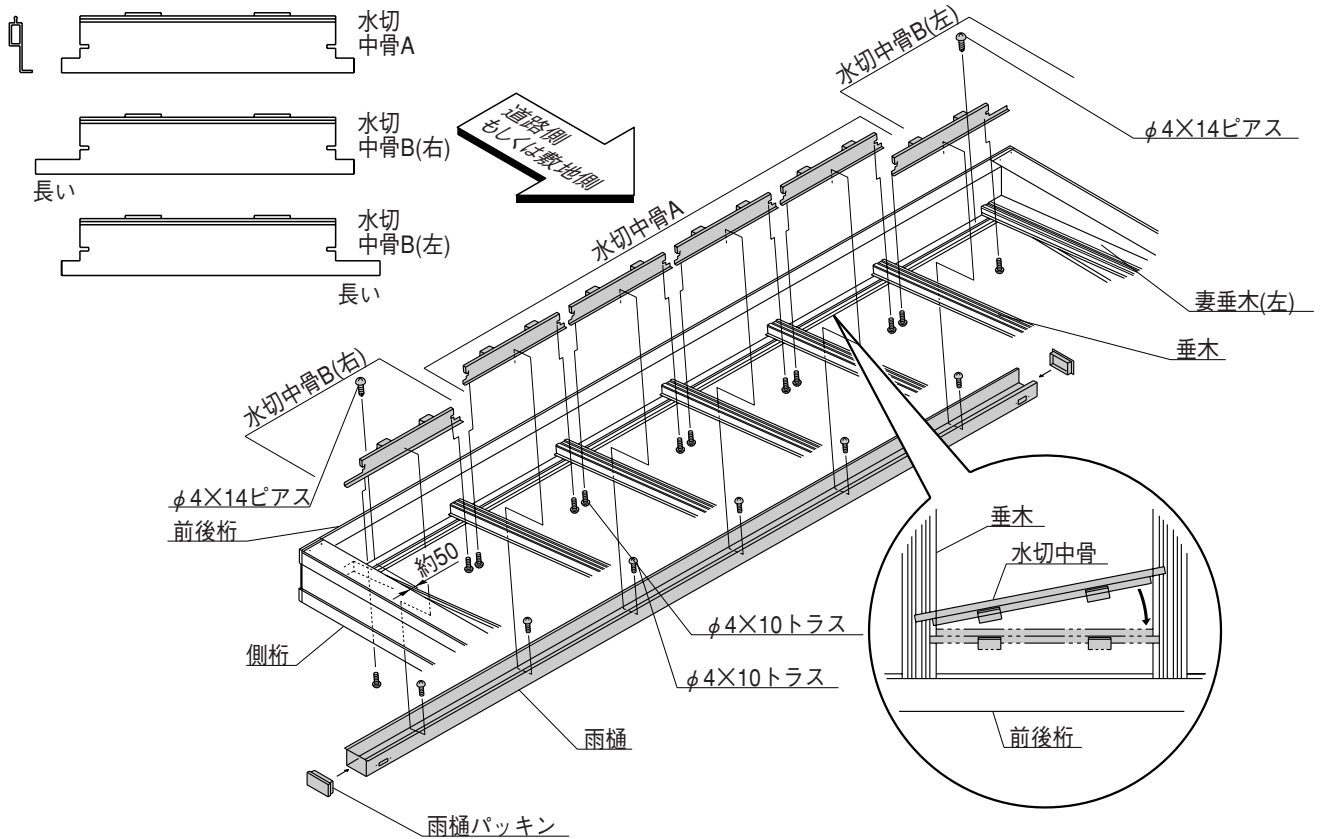
<注意>

- 指定の個所にシーリングしてください。
- 同梱のプチルシーリングを使用してください。(※1)

② 垂木、妻垂木上面の中間桁側にシーリングして下さい。

③ 妻垂木の前後桁側を上図の通りシーリングをして下さい。

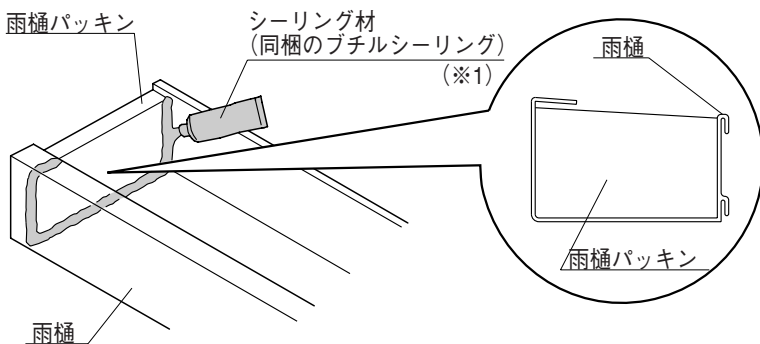
8.水切中骨、雨樋の取付け



- ① 水切中骨 A を $\phi 4 \times 10$ トラスで垂木に取付けます。
- ② 水切中骨 B (右)、(左) をそれぞれ $\phi 4 \times 10$ トラスで、垂木、妻垂木に取付けます。

<注意>

- 水切中骨 B (右)、(左) に注意して下さい。
- ③ 雨樋の両端に雨樋パッキンを押し込みシーリングします。



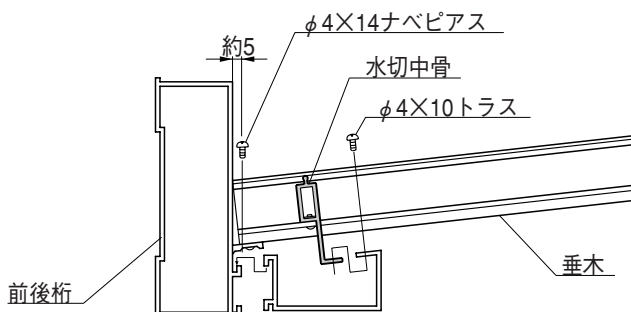
<注意>

- 雨樋パッキンの方向に御注意下さい。
- 雨樋パッキンの入れ忘れに注意して下さい。雨漏りの原因となります。

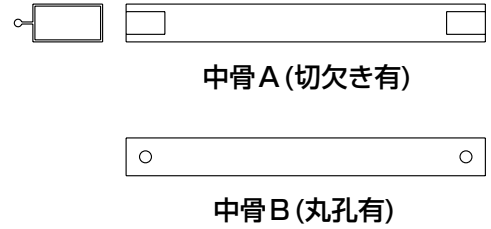
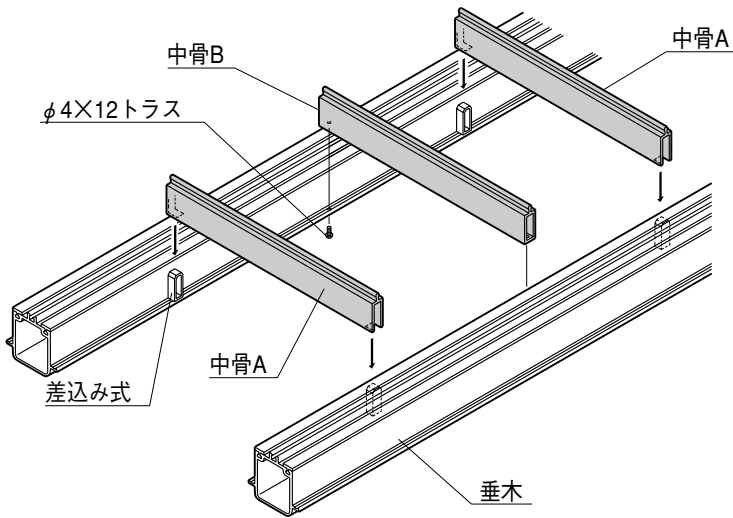
- ④ 雨樋を前後桁に取付けます。
- ⑤ $\phi 4 \times 10$ トラスで、水切中骨と雨樋を固定します。
- ⑥ $\phi 4 \times 14$ ナベピアスを前後桁の壁面から約 5 mm の所に通し、前後桁のフィンと雨樋を固定します。

<注意>

- ①～⑥の取付順序を厳守して下さい。後戻り作業が発生します。
- 指定の個所にシーリングしてください。
- 同梱のプチルシーリングを使用してください。(※1)

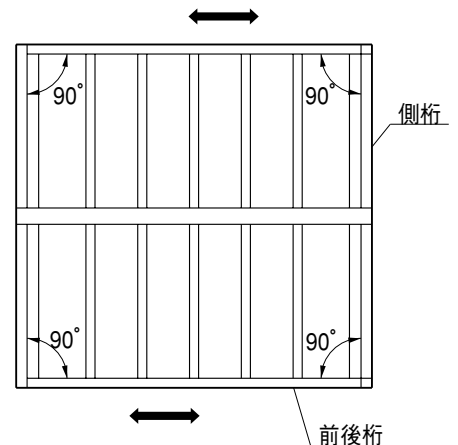
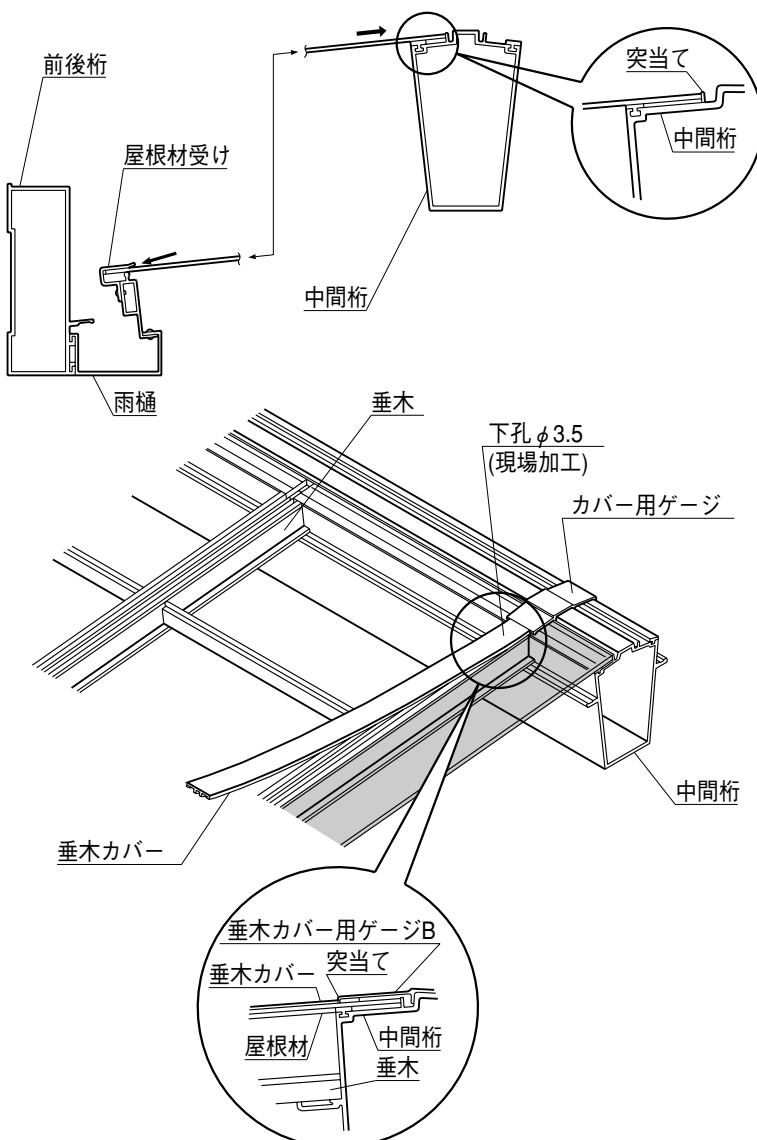


9.中骨の取付け



- ① 中骨Aを各垂木間の中間桁側と、前後桁側に取付けて下さい。
- ② 中骨Bを各垂木間の真ん中にφ4×12トラスで取付けて下さい。

10.屋根材の取付け



- ① 屋根材を正確に取付けるために側桁と前後桁の直角がでているかどうか確認して下さい。

<注意>

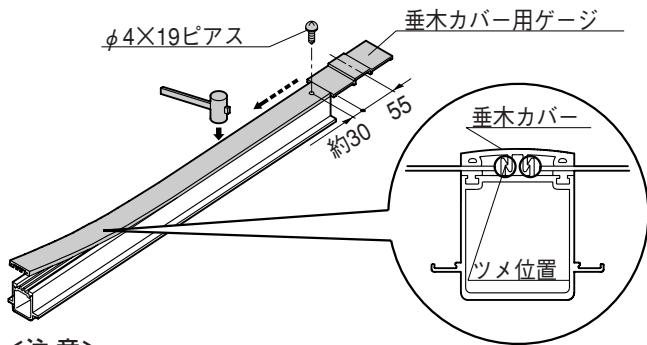
- 屋根材のマスキングシートは必ずおはがし下さい。
- 直角がでない場合は、矢印の方向に柱を移動して調整して下さい。

- ② 屋根材を中間桁のリブに突き当てて屋根材受けに差し込んで下さい。

- ③ 垂木カバー用ゲージを中間桁Bの上に置き、垂木カバーを突き当てます。

<注意>

- 垂木カバーの中間桁側、約30mmの位置のツメの中心にφ3.5の下孔をあけて下さい。(垂木本体への孔加工は不要です)

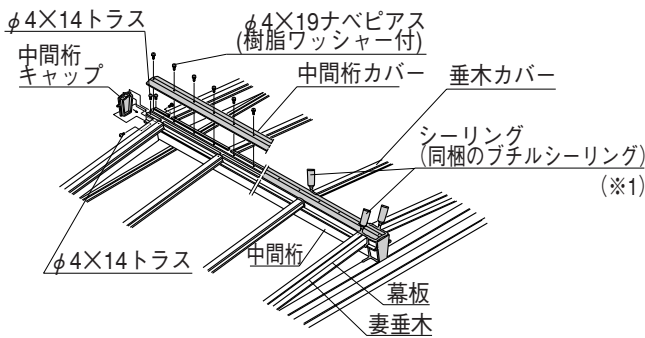


<注意>

- 垂木カバーの取付けは必ず中間桁側から行って下さい。浮き上がりの原因となります。

- 垂木カバーは木づちでたたきながら垂木に固定して下さい。
- <注意>
- 垂木カバーとツメ位置が一致していることを確認してから取付け作業を開始して下さい。
 - 木づちでたたき間隔はきめ細かくし、取付完了後は垂木カバー全長に渡ってしっかり固定されていることを必ず確認して下さい。
- 垂木カバー固定後、垂木カバー固定ネジφ4×19ピース(樹脂ワッシャー付)を取付けます。
- <注意>
- 垂木カバー固定ネジは各カバーとも中間桁側1本のみとします。

11. 中間桁キャップ、中間桁カバーの取付け



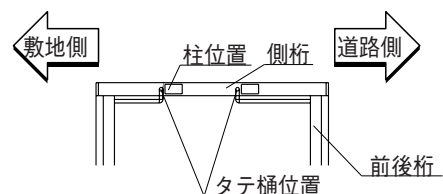
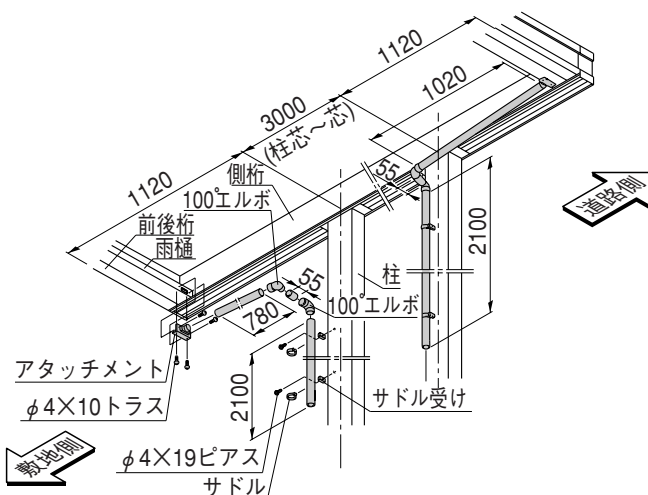
<注意>

- 指定の個所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。(※1)
- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。

- 中間桁キャップをφ4×14トラスで取付けて下さい。
 - φ4×19ナベピース(樹脂ワッシャー付)で中間桁カバーを中間桁に取付けます。
- <注意>
- 中間桁に穴はあいておりません。
 - 中間桁カバーのネジ止めは、一方の側桁側より順次行い、両側からのネジ止めは避けて下さい。カバー浮き上がりの原因となります。
- 垂木カバーと中間桁カバーの接触面にシーリングして下さい。
 - 幕板、妻垂木と中間桁との接触面および桁カバー端部を左図の通りシーリングして下さい。

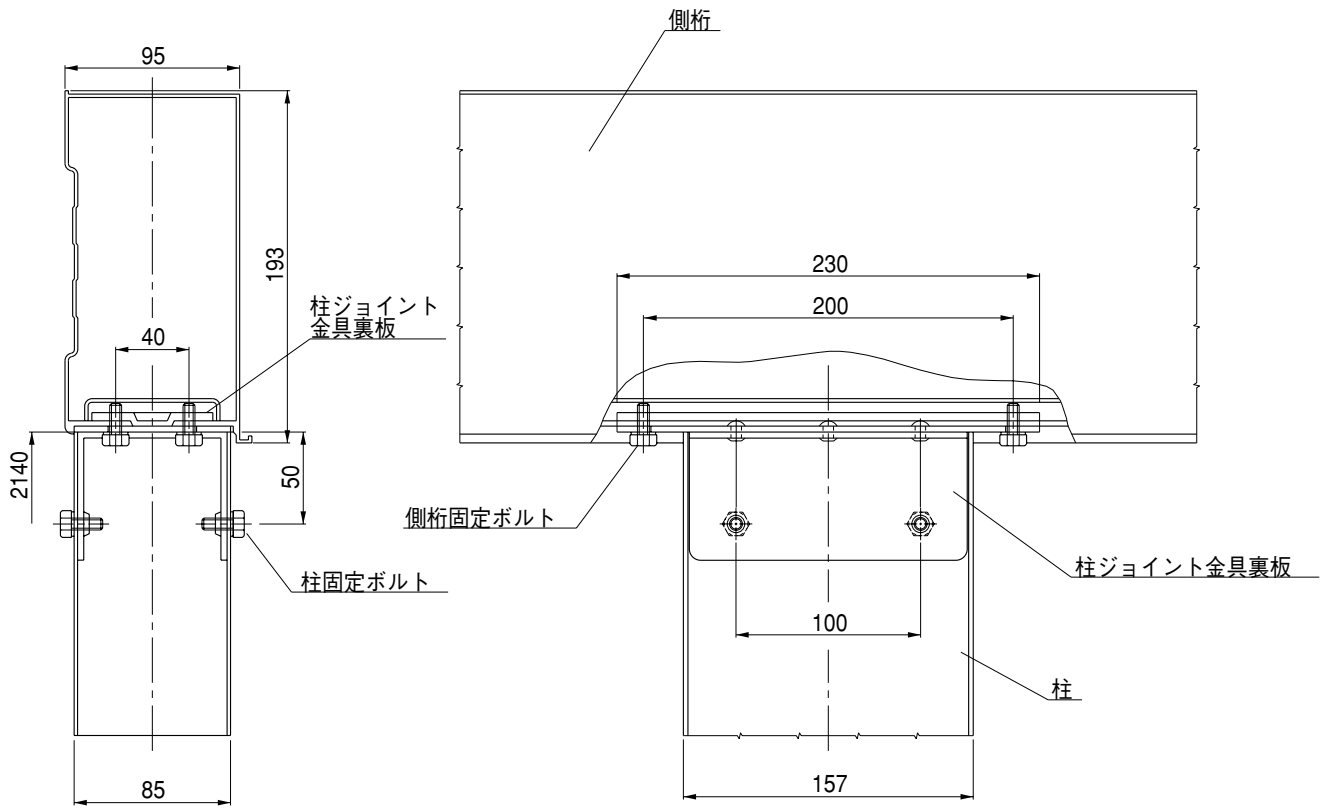
シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコン	トスシール380
トーレシリコン	SE960

12. 雨樋セットの取付け

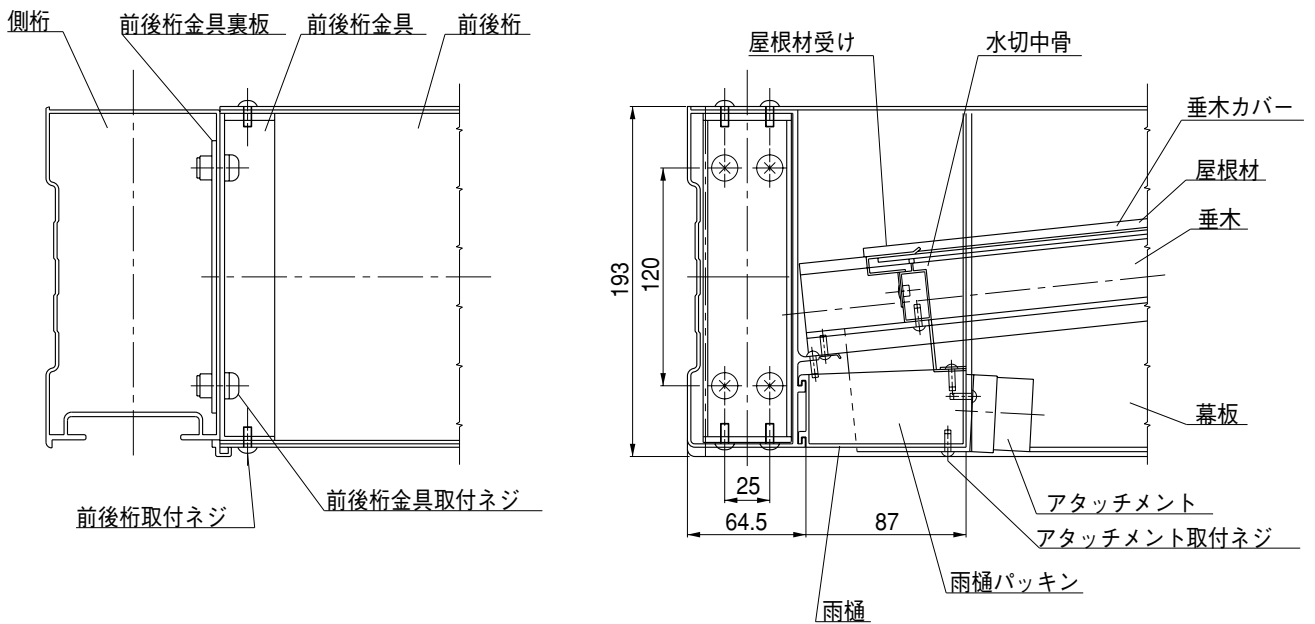


- φ4×10トラスで、アタッチメントを雨樋に取付けます。
- 丸樋A、Bを現場状況に合わせ、切断します。(上図丸樋の標準切断長さは、柱移動等をしない場合の標準時のものです。)
- サドル受けを左図の通り、各柱家側の面の中心にφ4×19ピースで取付けて下さい。
- 各部品を取付け、不都合点のないことを確認してから、各ジョイント部を接着して下さい。

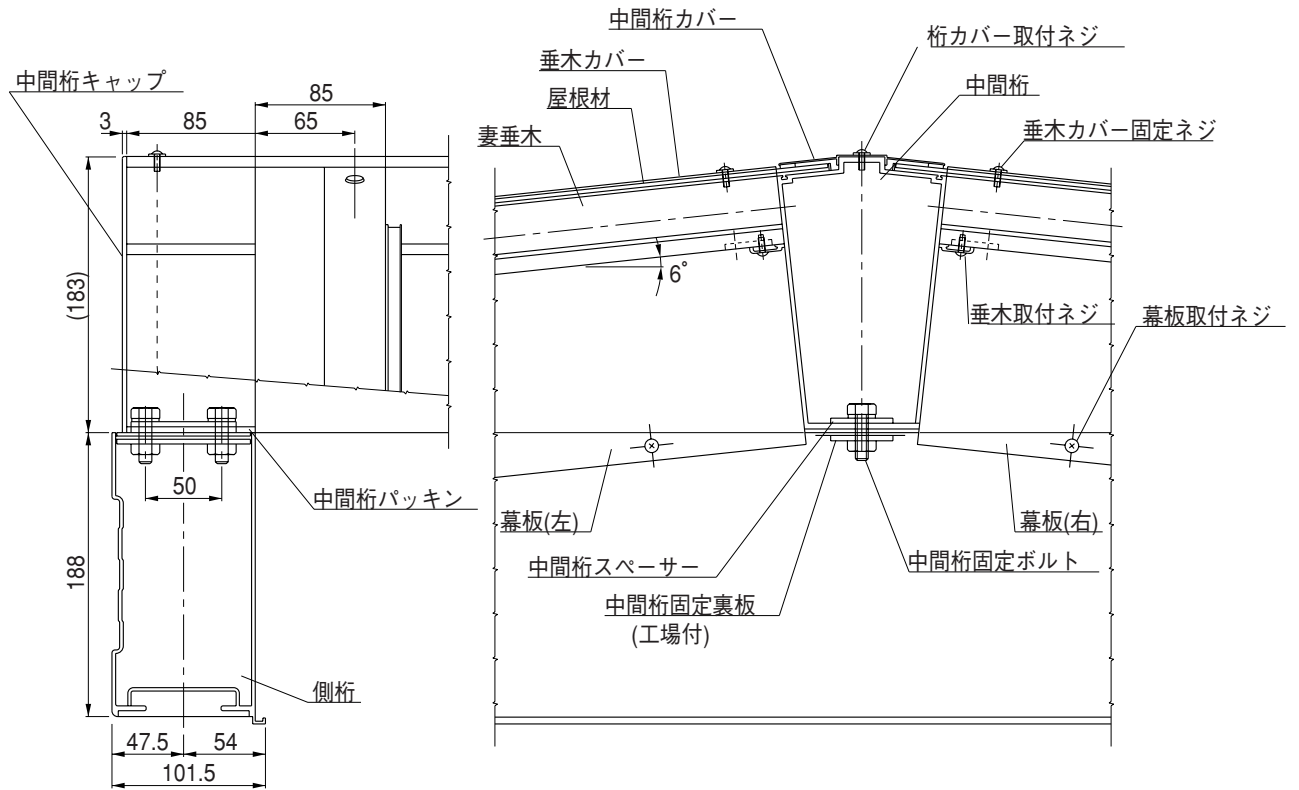
〈納まり図〉



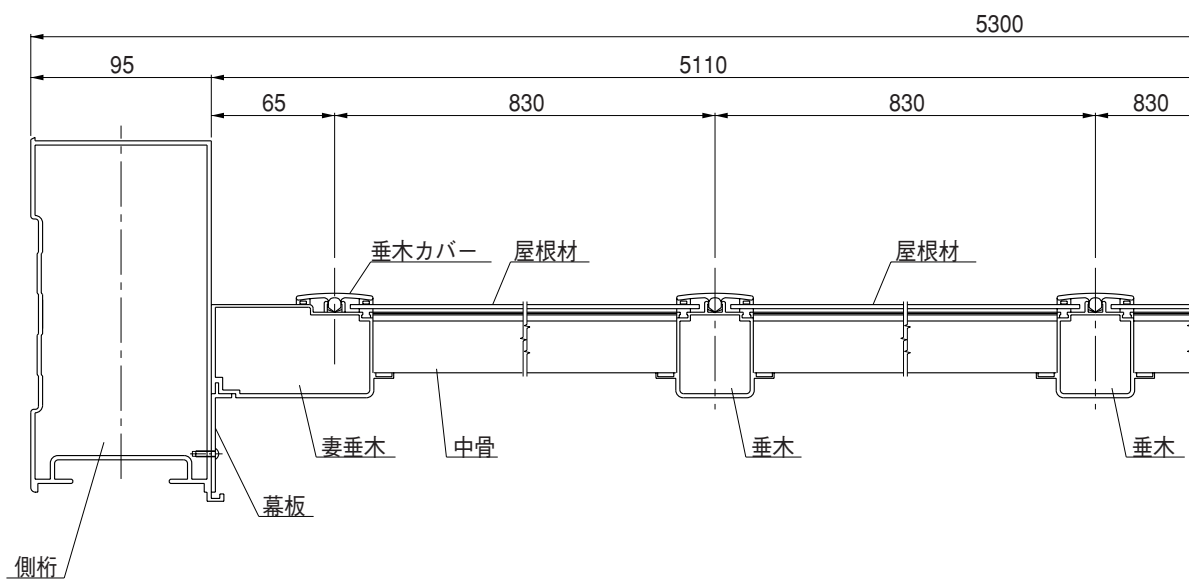
〈柱～側桁〉



〈前後桁・雨樋～側桁〉

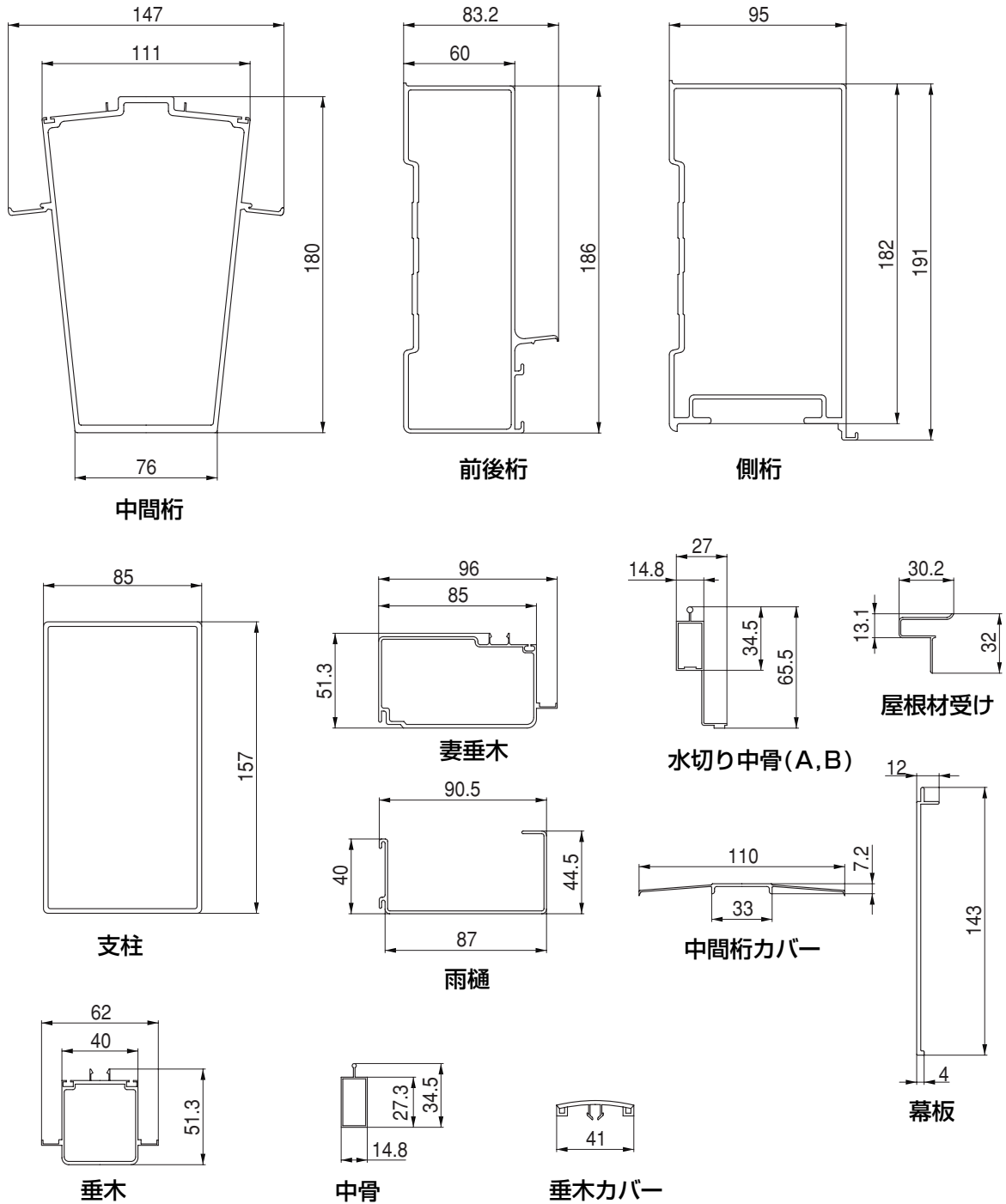


〈側桁～中間桁〉



〈垂木～屋根材〉

〈部材断面図〉



工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けて下さい。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取って下さい。
硬化後、拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し願います。

施主様へ

- 積雪が20cmを越えないうちに必ず雪おろしをして下さい。
- 絶対に屋根の上に乗らないで下さい。

取説コード

D175

RDL602875

93-11A

200407C_1001